

シンポジウム 生物多様性と 秋田の未来

Protecting natural richness
and promoting the importance
of biodiversity.

参加無料

定員 60 名 (先着順)

右記 QR より申し込み▶



いのちのつながり 生物多様性を守るために

人類を含めた多くの生命にとって、欠かすことのできない、命の土台である生物多様性。世界では、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標「30by30」が掲げられています。本シンポジウムでは「30by30」の理解を深め日本や世界各国、秋田県の事例等を通して豊かな生物多様性を未来につなげる機会とします。

2023
12/23 sat

秋田拠点センター ALVE

2F 多目的ホール

〒010-0001

秋田県秋田市東通仲町 4-1

主催

環境省東北地方環境事務所
東北環境パートナーシップオフィス
(EPO 東北)

共催

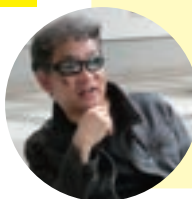
一般社団法人 あきた地球環境会議

後援

秋田県 秋田市
秋田魁新報社 ABS 秋田放送
AKT 秋田テレビ AAB 秋田朝日放送

プログラム program

- 10:00 開場
- 10:15 開会 / 開会あいさつ
- 10:20 「世界目標 30by30 について」
相澤あゆみ氏
(環境省東北地方環境事務所)
- 10:35 基調講演
「生物多様性と私たちの未来
～新たなる自然共生社会を目指して～」



五箇公一氏

(国立研究開発法人 国立環境研究所 生物多様性領域 生態リスク評価・対策研究室 室長)

- 11:40 事例発表
「秋田の生物多様性とその現状」
船木信一氏
(大瀧村干拓博物館 館長)

12:10 質疑応答

12:25 閉会あいさつ

12:30 閉会

シンポジウム 生物多様性と秋田の未来



自然生態系の恩恵なくしてわたしたち人間の生活は成り立ちません。
生物多様性を守るために今わたしたちになにができるのか、共に考えましょう。

基調講演 五箇公一氏

(国立研究開発法人 国立環境研究所
生物多様性領域
生態リスク評価・対策研究室 室長)

1990年 京都大学大学院昆虫学選考修士課程修了
同年宇部興産株式会社農薬研究部入社
1996年 京都大学博士号(論文博士)取得(農学)
同年国立環境研究所入所～現在

専門は保全生態学・農業科学。

テレビや新聞、マスコミを通じて生物多様性・生態リスクの啓発もつとめる。

事例発表 船木信一氏

(大潟村干拓博物館 館長)

1995年3月 秋田大学教育文化学部大学院卒業
1997年～2001年 秋田県立子ども博物館勤務
2001年～2019年 秋田県立博物館勤務
(主任学芸主事 生物担当)
2019年～現在 大潟村干拓博物館勤務(館長)

お申し込み

右記の受付フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。

フォームが利用できない場合

- ◆メール送付：メールタイトルを「12月23日シンポジウム申込」とし、本文に①ご所属
②お名前③お電話番号④連絡先メールアドレスを記入し送付ください。
- ◆FAX送付：下記のFAXお申込みに必要な事項をご記入のうえ送付ください。



個人情報の 取扱いについて

記入いただいた氏名・メールアドレス等の個人情報取得とその目的は以下の通りです。
①シンポジウムに関する事前のご連絡(中止、内容の変更等)、終了後のアンケート依頼のご連絡等
②当方及び報道機関等による動画撮影、写真撮影、取材等が行われる場合がございます。
特段の配慮が必要な場合はお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ



一般社団法人あきた地球環境会議

〒010-0912
秋田市保戸野通町7-33 2F
TEL/FAX 018-874-8548
メール info_ceeda@ceedakita.org

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

FAX お申込み (018-874-8548)

ご所属	(会社名・役職・学校名等)	個人の方はここに○ 個人参加
お名前		
TEL	当日連絡のとれるもの	
E-mail		

